

歯の相談室



北医療生協歯科 歯科医師
久野 よしの

Q

歯周病の検査って
何をするのですか

A

歯周病の検査で必ず行われるのが「歯周ポケット測定」です。

歯周病の進行状態を診断するための検査で、歯周ポケットの深さ、歯肉出血、歯のぐらつきの有無、歯石が付いている場所を調べます。歯を支えている骨の状態をみるためにはレントゲン撮影も必要になります。また、歯垢の付着状態を調べるために歯垢を染色液で染め出して記録する検査もあります。実際に汚れをしっかりと目で見て、確かめながら磨き残しのないように、歯磨き指導をさせていただきます。最近は「口腔内写真撮影（口の中の写真を撮る）」をして歯肉の変化を記録することが保険でできるようになりました。歯周病治療をすすめていくなかで、その効果を確認するためにも、定期的に検査をおこなう必要があります。自覚症状がないままに進行しやすいのが歯周病の特徴です。ぜひ検査をつけてみてほしい。